

令和6年度宮沢賢治記念館運営審議会会議録

1 開催日時

令和6年7月11日（木） 午前11時00分～午後0時15分

2 開催場所

花巻市矢沢第1地割1-36 宮沢賢治記念館多目的ルーム

3 出席者

(1) 委員5名

瀬川卓哉委員（宮沢賢治・花巻市民の会会員）、高橋俊吉委員（早池峰賢治の会事務局）堀合範子委員（花巻ユネスコ協会事務局長）中島健次委員（矢沢地域振興会会長）、多田章委員（矢沢地域振興会理事）

(2) 事務局（宮沢賢治記念館）4名

菅野生涯学習部長、小原館長、柳原副館長、宮澤上席主査

4 議題

(1) 会長の互選及び職代理者の指名

(2) 令和5年度事業報告について

(3) 令和6年度事業計画について

5 会議録

<1. 開会>

小原館長：それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

本日は、委員7名中5名の出席でありますので、宮沢賢治記念館管理運営規則第9条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますことから、会議が成立することをご報告いたします。

ただ今から宮沢賢治記念館運営審議会を開会いたします。

開会にあたりまして、菅野生涯学習部長よりごあいさつを申し上げます。

<2. あいさつ>

菅野生涯学習部長：皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、宮沢賢治記念館運営審議会にご出席いただきましてありがとうございます。来られる途中、川がかなり増水していたことと思われませんが、この間まで豊沢ダムが水不足というふうに言われていたところが、ここ数日の雨で、かなり水不足は解消されたことと思われましますけれども、一方で全体の被害状況はまだわからないのですが、道路の冠水や法面の崩壊ということが起こっております。もう少しバランスよく降ってもらえばと思いますが、やはり自然ということではなかなか思い通りにはならないものだと思っております。記念館の入館者数ですが、ここ数年、ご存じのとおり新型コロナウイルス感染症の関係で減少しておりましたけれども、昨年5月からの5類感染症への移行ということで、徐々に増加してきてまして、令和5年度は4年度と比較して2万3千人ほど増加したということになってございます。また今年7月20日から恒例の童話村の森ライトアップに加えまして、博物館で、市と教育委員会とテレビ岩手さんの実行委員会ということで主催いたしまして、「アニメージュとジブリ展」を開催されることとなっておりますので、博物館から記念館への誘客にもつな

がるものと期待しているところでございます。また、昨年度は宮沢賢治没後90年という年で、直木賞を受賞いたしました門井慶喜さんの原作を基にした映画「銀河鉄道の父」が全国で公開されたということで、改めて、宮沢賢治とその家族についてスポットがあたりましたけれども、市の記念事業としては、新進気鋭のチェリスト宮田大さんをお招きして、記念館で所蔵しております賢治のチェロを弾いていただいて、市民対象としたコンサートを開いていただいたという事業になってございます。今年度は、賢治が生前1924年に刊行した『心象スケッチ 春と修羅』、『イーハトブ童話 注文の多い料理店』の2冊が出版されてちょうど100年を迎えるということで、これを記念して8月に特別展を開催する予定となっております。今年の3月には東京在住の方より、賢治記念館で活用してほしいということで、『イーハトブ童話 注文の多い料理店』の初版本の寄贈を受けたところでございます。本日は令和5年度の事業報告と令和6年度の事業計画を議事としております。委員の皆様から様々ご意見を伺いまして、記念館のよりよい運営につなげていければと考えてございますので、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

< 3. 会長の互選及び職務代理者の指名 >

小原館長：それでは、次第3の会長の互選及び職務代理者の指名議事に入らせていただきます。本運営審議会は、会長が議長を務めることとされていますが、改選後、最初の運営審議会でございますので、会長が決まるまでの間、菅野生涯学習部長が議長を務めさせていただきますことをご了承願います。それでは、菅野部長、お願いします。

菅野部長：宮沢賢治記念館管理運営規則第8条第1項に、委員の互選により会長を定めることと規定されております。どのような方法で会長を選出したらよろしいでしょうか、お諮りいたします。

(事務局案との声あり)

菅野部長：事務局案というご提案がありました、よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

菅野部長：それでは、事務局より提案をお願いします。

小原館長：会長を前期もお努めいただいております、中島健次委員にお願いできればと考えております。よろしくお願いいたします。

菅野部長：事務局より提案がありましたので、お諮りいたします。中島健次委員を会長とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

菅野部長：それでは、中島健次委員を会長とすることに決定いたしました。それでは議長を中島委員と交代いたします。よろしくお願いいたします。

中島会長：再任いただきました中島でございます。引き続きでございますが、賢治記念館という存在の大きさ、身の引き締まる思いでございます。委員の皆様方のご支援ご協力によって役割を果たして参りたいと思っております。審議会自体は年1回か2回

ほどの開催ですけれども、私ども委員の立場として、常日頃賢治関連の活動をしている者として有意義なものと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。また、賢治記念館さんにおかれましても、いわゆる箱物、施設管理のみならず、さまざまなセミナーや、企画展、広報活動等いろいろと取り組んでいらっしゃることに敬意を表したいと思います。今後とも充実した運営に向かっていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

次に、職務代理者の指名ということでございます。会長指名ということになっているようでございますので、私から指名したいと思います。職務代理者につきましては引き続きではございますが、本日欠席ではございますが、宮沢賢治東和の会の小原節子さんをお願いしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

< 4. 議事 (1) 令和5年度事業報告 >

中島会長：それでは、早速議事に入りたいと思います。(1) 令和5年度事業報告について、ご説明をお願いいたします。

柳原副館長：宮沢賢治記念館副館長の柳原でございます。私の方から令和5年度事業報告ということで説明をさせていただきます。それでは、会議資料1ページでございます。令和5年度事業報告でございます。1. 入館状況と対応について、(1) 入館者の状況入館者状況と対応についてです。令和5年度は、コロナ禍の影響が弱まりを見せまして、観光客を含め人流が復活いたしまして、年間の入館者数は11万1千393人となりまして、前年度と比較いたしまして、2万3千924人、27.4%の増加となったところでございます。年度ごとの推移につきましては、下の表に記載のとおりでございます。(2) 対応の状況でございます。①開館日等の状況、条例では休館日を月曜日としてございますけれども、月曜日も開館してございます。例年通りでございます。また、1月2日でございますけれども、コロナ前は胡四王神社蘇民祭を開催しておりましたけれども、今回見合わせになったところですが、例年と同様に2日から開館いたしました。よって、令和5年度の開館日数は、361日となっております。②繁忙期の対応でございますけれども、例年と同じでございますが、ゴールデンウィーク、夏休み期間、9月の賢治の命日の前後、繁忙期には、童話村駐車場及びイーハトーブ館駐車場と当館駐車場を結ぶシャトルバスを運行いたしました。運行日数は30日間でございます。また、シャトルバス運行に併せまして、記念館駐車場等の交通整理に52日間警備員を配置いたしまして、来館者の安全誘導を行ったものでございます。実績につきましては別紙1、9ページに詳細を載せておりますのでご覧ください。9ページ、令和5年度のシャトルバスの運行実績につきましては、合計30日運行して、6千940名の乗車がございました。警備員につきましては、52日間の配置をしたところでございます。③解説案内、レファレンスの対応につきましては、例年通りの対応でございますので省略いたします。

続いて2ページです。2. 主要事業(賢治のまちづくり推進事業)についてご説明いたします。(1) 特別展の開催、特別展は大きく分けて3つ開催しております。①「銀河鉄道の夜」前期、②「銀河鉄道の夜」後期でございます。宮沢賢治の長編作品「銀河鉄道の夜」を前・後期の二期に分けて特別展示を行いました。特にも令和5年度は没後90年を記念し、映画「銀河鉄道の父」が公開になりまして、その関連もあり多くの入館者が訪れたところでございます。②「山男の四月」ですが「③」に訂正をお願いいたします。「山男の四月」は、2月23日から5月6日まで開催してございます。「山男の四月」は生前に発表された唯一の童話集「注文の多い料理店」

に所収されている作品の一つでございます。初期形といわれる手入れ草稿が残っておりまして、公開し紹介いたしました。続いて、3ページでございます。(2)「賢治の世界」セミナー・ワークショップ等の開催につきまして、ご説明いたします。これにつきましては、別紙2に詳しく実施状況を載せております。10ページを合わせてご覧いただきたいのですが、まず「賢治の世界」セミナー、これは出前講座でございますが、15校、のべ16回開催してございます。受講した児童生徒数の合計が、1千321名となっております。内容についてはお目通しいただきたいと思っております。続いて②の「賢治の世界」ワークショップでございます。これは3回行ってございます。1つ目が「初夏の胡四王山散策」6月18日、21名の参加、続いて「賢治ゆかりの鳥羽源蔵を訪ねて」これは陸前高田市に行っております。7月17日、20名の参加、3つ目が「冬の胡四王山散策」、12月9日に実施いたしました。17名の参加でございました。続いて、4ページでございます。3の各種行事等の開催でございます。(1)開館記念行事でございますが、9月21日当館の開館記念行事として、胡四王神楽による演舞を行ったところでございます。(2)宮沢賢治没後90年特別企画「チェロでつづる宮沢賢治の世界」これは、11月25日に市の文化会館で行ってございます。世界的にも著名で新進気鋭の若手チェリスト、宮田大さんを招きまして、宮沢賢治記念館に展示している賢治愛用のチェロを、実際に演奏披露するコンサートを開催したところでございます。634人の来場者数でした。4. 記念館年報・記念館通信等の発行、令和5年度も年報を9月に発行しました。また、記念館通信を2回発行したところでございます。5. 環境等の整備についてです。(1)主な施設整備、(2)周辺環境の整備として、ご覧のとりの施設修繕を行ったところでございます。遊歩道階段修繕、これは国道456号線から山猫軒に上がってくる階段の整備、入口通路タイル修繕、これは当館の入り口の通路タイルの修繕です。山猫軒売店内エアコン更新、また、山猫軒サッシ交換、照明器具増設、軒天貼替え、エアコン更新という修繕を行っております。令和5年度につきましては、これらの維持保全経費として、事業費は約550万円でございます。「企業の森活動」として日東工業株式会社花巻営業所により胡四王山(当館の南斜面)の草刈り作業を2回行っていただきました。また、ここには記載をいたしません、花巻農業高校のPTAによるプランターの設置もいただいたところでございます。(3)宮沢賢治記念館所蔵資料直筆稿の修繕です。令和5年度は、これら原稿の修復作業を行ってまいりました。詳細が記載されていますが、合計525枚の修復をいたしました。これらの修繕は、500万円の寄附金があったところでございますが、500万円の一部と令和4年に採納した寄附金12万円をこの修復に活用しております。(4)その他ですが、部長のあいさつにもございましたが、宮沢賢治が生前に刊行した唯一の童話集『イーハトヴ童話 注文の多い料理店』の初版本の寄贈を受けたところでございます。本書は寄贈者の義父の遺品であり、当館で活用してほしいという寄贈者のご意向により申し出を受けたものです。『注文の多い料理店』の初版本はたいへん希少であり、当館でも1冊を所蔵するのみでございます。目立った劣化もなく状態が良いことから、非常に大切にされていたことが伺えます。当館では2冊目でございますが、今後、機会を見ながら公開について検討していきたいと考えております。以上、令和5年度の事業報告でございます。

中島会長：それでは、ただ今の令和5年度事業報告について、皆さんからご質問、ご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

瀬川委員：賢治の世界セミナーについてですが、市内全部の小中高を網羅しているわけではなくて、前年度も質問させていただいたのですが、実施校をみるとムラがあ

るように見受けられますが、学校側の都合なのかどうなのか、その辺をお聞かせ願えればと思います。

小原館長：前年度の2月に、市内小中高校にお声がけをしまして募集し、希望する学校から応募していただいているという状況です。

瀬川委員：ここで記載がない学校は、申し込みが無かったということですね。

小原館長：そうです。

中島会長：令和5年度の実施はこの記載のとおりで、これまで開催した、過去に実施した学校の記録はあるでしょうか。

小原館長：少し前までの資料を見てみたのですが、二、三年前は実施していたが、しばらくしてまた始めたりなど、そのような学校も見受けられますが、例えば、学校によっては、周年事業など行事が入ってきたりすると、なかなか計画に入れにくいのかなと思われ、その年の状況によって、実施の要望が上がってきているのかと思いました。

堀合委員：関連して、逆に一度開催してみると、いいなと感じて続けて同じ学校さんが開催することがありますよね。

小原館長：そうですね。やはり講師の皆さんが、とても児童生徒さんに対して伝え方がお上手なので、そのようなことから、継続しての開催があるのかと思います。

瀬川委員：周辺の環境整備について、花巻市民の会からの意見なのですが、先月花巻市民の会の会員で改めて宮沢賢治記念館を見学させていただきました。そのときにいろいろな意見が出たのですが、周辺環境整備に関しまして二、三出ておまして、館周辺の観察の案内がもう少しあってもいいのではないかと、車を止めてからここに入ってくるまで、緑も多くていい雰囲気なのですが、そこに、ゆかりの木とか、もう少し案内できるものがあればいいのかなということでした。また、展望台のところも早池峰山から持ってきた由来のある石がありますが、その説明が無いようですし、他にもそのような箇所が二、三あるように感じましたので、その辺、案内があったほうがいいのではということ、展望台のところからの眺望が、以前は市内の風景が見えて見晴らしがよかったのですが、木が伸びてきていて、展望台の端までいかないと遠くまで見えない状況なので、伸びた木も、何とか切ったほうがいいんじゃないかっていう意見が出ました。また、南斜花壇に降りていく階段も、ボランティアガイドさんの間では、「天空階段」という名前を独自につけているみたいですが、そういった名前も付けてみれば親しみやすくなって、訪れる方も増えるのではないかなと感じます。これらについて、どのように思われているかお伺いしたいと思います。

小原館長：花巻市民の会の皆様で、事前においでいただきご確認いただいたこと承知しておまして、ありがたいと思っております。周辺の自然に関する案内についてですが、現在、記念館周辺の野花や、遊歩道を案内している既存の看板が数個ありまして、今年度初め状況を確認して回ったのですが、表示が古くなって、劣化が進み見えにくいといった箇所が見受けられましたので、修繕していきたくて考えており、今詳しく調査しているところでした。展望台の眺望についてですが、4月ころは、展望台からの景色がよく眺められたのですが、5月ころになりまして樹木が一斉に育ち葉が茂ってきたため、景色が見えにくくなってきていると感じておりました。樹木の環境状態につきましては、農村林務課において管理している区域も多いことから、状態について相談しておりました。南斜花壇の階段などの親しみやすいネーミングについてですが、今、ご意見いただいたところも含めまして、今後考えていきたいと思っております。

瀬川委員：景観に関して関連があると思うのですが、展望ラウンジの眺めも非常にいいのですが、もう少しイスが欲しいな、という声が花巻市民の会からありましたので、可能であればお願いしたいです。

小原館長：展望ラウンジですが、お客様からも評判もよく、その箇所には、お客様からのメッセージを記入いただくスペースを設置していますので、配置的に兼ね合いもあろうかと思われまますので、今後検討していきたいと思ひます。

堀合委員：開館日についてですが、月曜日も開館しているということですが、職員の体制で無理はないのかなと、今、働き方改革ということも言われておりますし、他の観光地でも月曜日は休みといった認識であり、訪れて閉館で失敗することもあるのですが、月曜日は、ほかの曜日と比べて開館したほうが良い入館者数なのでしょうか。

小原館長：月曜日の入館者数ですが、以外に多く入館され、旅行など県外から訪れる方が、土、日及び月、日と旅行の日程を組んでいる方も多いようで、その流れで入館者が多いのかということが伺えますが、館としては、毎日開館することにより、メンテナンスが十分できるかということが気になりますが、そこは工夫しながら対応を進めているところです。

堀合委員：今までも月曜を開館するということが慣例のようになっているようですが、無理をしなくても、月曜は休館であることを周知していれば、職員体制やメンテナンスのことなどもありますので考えてもいいのではないかと思います。

瀬川委員：前は、日曜日に温泉に宿泊されるお客様が、月曜日に来館したいので開館するに至ったと聞いたのですけれども。

小原館長：おそらくそのような傾向があつて、続けているのかと感じます。月曜日は開館していますかといった問い合わせも多いところです。

堀合委員：他の施設は休館しているが、賢治記念館は開館しているということでいらっしゃるのでしょうか。

中島委員：さきほど意見がありました、職員のシフトを考える上で負荷がかかっているか、適正にローテーションできていますか。

小原館長：現在、職員体制は正職員が3人、会計年度職員が4人、計7人で勤務シフトを組んでいます。正職員は必ず1~2人は配置するようにシフトを組んでいます。シフト通りに休めるかということ、突発的な案件により対応しなければならないこともあるので、なかなか難しく、出勤予定の変更をかけながら対応していることもあります。

柳原副館長：追加して説明しますが、周辺施設、当館、童話村、博物館、新渡戸記念館4館の共通入館券があるのですが、どこも同じように月曜日も開館しています。もし開館日を変更するのであれば、足並みをそろえ協議しながら進めなければならないかと考えます。どちらの館も、職員数が限られていますので、他の施設でもなかなか大変だという声があると伺っています。

中島会長：その他ありますか。

多田委員：コロナの影響が弱まってきて入館者が増えてきていると、今年度はどうなるかわかりませんが、増えることを期待しますが、最近インバウンドということが話題になっていますが、外国の方々の来館状況はいかがでしょうか。もしおわかりであれば、感覚でもよいのですが教えていただきたいです。それから、この周辺では悪臭の課題がありまして、その影響など記念館ではないかということ、情報がありましたら教えていただきたいです。また、共通入館券のお話がありましたが、童話村では大型バスが朝から3~4台停車している様子が見受けられますが、そのよう

な方々は童話村だけ見学されているのか、またはそのような共通入館券などにより併せて周辺施設を見学されているのか、おわかりであれば教えていただきたい。環境の話がありまして、眺めがいいということで、木が生い茂ってきているということで、会議前に見てきましたが、確かに木が茂っており、特に北側の収蔵庫の周辺が伸びてきているなど、できれば胡四王山の方まで見渡せるように間伐するとかできないものかと思いますがいかがでしょうか。

小原館長：インバウンドに係る入館者の状況ですが、こちらから来館者に対しお尋ねしてはいないので、あくまでも見た感じで集計したのですが、昨年度は1,005名の外国人の方がおいでになっているようです。会話されている言語から、アジア圏の方が多く見受けられました。外国人の来館者が多くなったと感じております。悪臭に関しましては、本館周辺は、悪臭は感じられてはおりません。来館者からも、悪臭に関しての苦情はない状況です。来館者の周辺施設への見学状況ですが、共通入館券の購入状況から見ると、2館共通券の購入が一番多いです。当館を見学後、童話村へ向かわれる方が多いかなと思われまます。ご意見をいただきました、収蔵庫付近の樹木についてですが、確かにうっそうとしておりますので今後検討して参りたいと思ひます。

瀬川委員：収蔵庫周辺や、展望台周辺の土地は地権者の関係もあつて、伐採など進めにくいということでしょうか。

柳原副館長：市の敷地になります、もう少し行くと神社の敷地になりますし、南斜花壇のあたりも市の管理になります。

瀬川委員：市の管轄で伐採や整備ができるということですね。悪臭ですが、大分前に夏場に悪臭を感じたことがあります。一度、市から改善命令的な指導があり、そこから若干良くなったとは思ひますが、最近でも市内のほうにも悪臭が漂ってくる場合があります。風向きや天候等により漂ってくることもあるのではないかなと思ひます。何も知らない観光客が悪臭を感じてイメージが悪くなってしまうのではないかなと思ひます。

柳原副館長：こちらに勤務して2年目になりますが、今までは感じたことはないのですが、地域ではいかがでしょうか。

中島会長：悪臭に関しては、矢沢地域では一番の課題ということで、市を通じて県に働きかけていただひている、いわゆる畜産振興の関係の中で、改善の方向できています。昔は、賢治記念館に来てバスから降りないで帰った方がたくさんおりました。そのぐらい酷かったのですが、学校もありますし、湿度と風向きによっては、匂いがするところではありますが、最近では改善され、いろいろ対策は講じてきていますと地域としては認識しています。

瀬川委員：川を伝って匂いが漂ってきていますね、イギリス海岸でも少し匂ったり、宮野目方面へも川を伝って匂っていたりということがあるので、改善に期待するしかないですね。

菅野部長：長年の課題だということについては、皆様ご承知おきのことと思ひますが、最近のことですが、市から直接県へ要望するという機会がありまして、毎年要望はしているわけですが、県では、環境分野の関係だけではなく、畜産業に関係するということで、農林部局も巻き込んで対策を講じるよう要望してありますし、さらには、畜産業関係の方々には、なくてはならない県内唯一の施設ですので、そうすると、花巻市だけではなく、他市町村にも、それなりの負担をしていただき対応していくということも考えなければならぬのではと、何年もかかってはいますが、少しずつ動きも出始めているということでございました。

中島会長：その他、ありますか。

堀合委員：先ほど、インバウンドの関係で入館者が1,000名を超えていらっしゃるということでしたが、展示の説明について何か対応はされていますか。

小原館長：外国人向けの展示説明につきましては、スマートフォンでQRコードを読みとることにより、4つの言語において翻訳された説明を見ることができるようになっております、来館者の皆様は必要に応じてご利用されているようでした。

中島会長：そのほか、ありませんか。後で事業計画の中でも振り返って質問されてもいいですが。では、令和5年度の事業報告については、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

中島会長：はい、ありがとうございます。では、原案のとおり承認することといたします。

< 4. 議事 (2) 令和6年度事業計画 >

中島会長：それでは、(2)の令和6年度事業計画についてご説明をお願いします。

柳原副館長：令和6年度事業計画についてご説明いたします。1 主要事業 賢治のまちづくり推進事業でございます。(1) 特別展の開催 今年度は3つの展示を企画しています。①「イギリス海岸」現在行っておりますが、開催期間は令和6年5月11日(土)から8月4日(日)までです。②「刊行100周年 二冊の初版本」期間は令和6年8月10日(土)から令和7年2月9日(日)を予定してございます。今年度は宮沢賢治が生前に刊行した『心象スケッチ 春と修羅』と『イーハトブ童話 注文の多い料理店』の二冊の本が出版から100年を迎えることを記念し、二冊の本にかけた賢治の作品に対する熱い思いを取り上げる。初版本や直筆稿のほか、刊行の際に作成された広告やチラシ、絵画といった貴重な資料の展示を行う予定でございます。③「紫紺染について」期間は令和7年2月22日(土)から5月6日(火・祝) 予定してございます。「紫紺染について」は、盛岡の特産物「紫紺染」を復興させようと工芸学校の先生や、町の紫紺染め研究会の人たちが相談をして、かつて紫紺を取り扱っていたといわれている山男から製法を聞き出すというお話です。成立過程を示す資料及び直筆稿などの展示を行う予定でございます。

(2)「賢治の世界」セミナーです。別紙3に今年度の実施計画を示しております。開催について市内小・中学校及び高等学校へ通知したところ、今年度は17校(18回)において開催することとなりました。実施した学校では大変好評でございましたので、開催に至らなかった学校へも講座開催に向けて紹介し広めていきたいと考えております。(3)「賢治の世界」ワークショップです。今年度は5回開催を予定してございます。(4) ギャラリートークです。10月と11月に学芸員によるギャラリートークを開催する予定でございます。2 各種行事等でございますけれども、開館記念行事期日を、開館日であります9月21日に併せて開催する予定です。内容につきましては、ただいま検討中でございます。3 記念館年報・記念館通信等の発行について、例年どおり記念館年報につきましては、9月ころ発行予定ですし、

記念館通信は、年2回9月及び3月に発行予定でございます。4 環境の整備です。主な施設の整備ですが、常設展示室プロジェクター更新、・照明設備の更新LED化ですが大分進んでおりますが、今年度予定している箇所館内照明のLED化は完了することになります。入口通路タイル修繕ですが、毎年破損が進んでいるのですが、

継続して少しずつ修繕していくしかないかなと思っております。また、周辺環境の維持管理として、市道宮沢賢治記念館線及び南斜花壇周辺の草刈り及び植栽管理を引き続き実施していくこととございます。今年度のこれら環境整備に係る予算は、総額700万円の予算を用意しております。草刈りについて補足して説明いたしますが、農村林務課に胡四王山周辺の草刈りについて予算がありまして、NPO法人和賀環境ネットに委託してございます。先日、受託されている団体の方が来られまして、先ほどご指摘のありました箇所、展望台付近や収蔵庫廻りなど、記念館周辺について、倒木や下草刈り、また枝切りなどの伐採等について相談したところ、実施できる場所が限られているが、こちらの要望も確認しながら対応できる範囲で処理を行うというお話をいただいております。以上説明を終わります。

中島会長：ただいま説明がございましたが、何かありましたら発言をお願いします。

瀬川委員：館内のパンフレットがありますが、施設周辺の碑やゆかりの場所等の案内があればいいという意見がありました。館内見学の後、パンフレットを見ながら周辺を散策ができるのではないかとということからと思います。ご検討いただければと思います。

小原館長：作成の際はご意見をいただきながら進めたいと思いますのでよろしくお願ひします。

高橋委員：イギリス海岸の特別展についてですが、展示を見学して、実際の場所に行ってみたいという方もあろうかと思ひます。初めて来られた方など、その場所の様子や状況など詳しく知りたい方もおられると思ひますが、その際の対応はどのようにされていますか。

小原館長：実際にご覧になりたいという方はおります。その際は、受付の宮沢記念会の職員が詳しくご案内をしております。お電話での問い合わせも多く寄せられております。ゆかりの場所や、そこに行くまでの手段など、来館者の要望にあわせてお答えしご紹介しております。

中島会長：今の件は大切なことと思ひます。この記念館だけではなく、賢治ゆかりの地が市内には多数あります。桜町の賢治詩碑ですとか、羅須地人協会ですとか生家など、花巻地域に限らず、石鳥谷や大迫、東和などありますね。賢治ファンの方々はそのような情報は欲しいと思われまして、その提供は大事なところだと感じます。

菅野部長：賢治まちづくり課でも、「賢治カレンダー」を定期的に発行しており、その中に賢治ゆかりの地を示しているマップをつけております、イギリス海岸につきましては通常なかなか姿が見えないところですが、今年、雨が降らない状況が続いたため川の水かさが減り、地層が露出しましたので、ホームページなどで紹介をしておりました。通常は、普通の北上川の眺めだけになりますので、ここがイギリス海岸と言われる場所かと思ひただけの方などおられます。

高橋委員：宮沢賢治が目にした当時の話だけで、現在はイギリス海岸の様子を見ることはできないのですが、来訪される方にとっては、実際の場所に来ることにより、ここで宮沢賢治が創作したのだということに想いを馳せることができるように思ひます。このようなゆかりの地は広く周知したほうが良いと思ひます。

中島会長：大迫地域もゆかりの地がありますがいかがですか。

高橋委員：早池峰賢治の会で、トレッキングツアーを行ってしまひて、15年ほど前から始まりましたが、当初は大迫地域の方くらいしか参加されませんでした。少しずつ範囲が広まってきて、今では県外の方が多数参加され、今年は大迫地域の方の参加は一人もいなかったです。県外参加者の方々はインターネットなどから情報を得て参加されておりました。参加の目的を伺ったところ、原風景を実際に見てみた

いということでした。イギリス海岸もあてはまると思いますが、大迫であれば猫山ですとか、モリブデン鉱山はありますので、実際に見ると同じ場所に立つことにより、賢治の世界に入ることができると思うとすごく感動されているようでした。大迫は交通の便が悪いにもかかわらず、リピーターが訪れている状況なのですが、我々の活動の努力が実ったのかと感じています。

中島委員：その他に入りますが、何かありますか。

瀬川委員：展示内容に関してですが、花巻市民の会からの意見ですが、しっかり見ようとすると説明が多いので2時間くらいかかるかと思っています。例えば、宮沢賢治の名前だけ知っているようなビギナー初心者の方にとすると少し難しいのではないかと、中級者以上の方であれば深堀できるようなテーマもあってよいかと思いますが、初心者向けのわかりやすい優しい展示というものも検討されてはいかがかなという声が多いです。誰を対象としているのかということがわからない。解説シートが4種類くらいあるのですが、館内が暗いのでその場で読みにくい、もったいないなと思います。また、花巻市民の会員で見学しているときに、いろいろなことを知っている方がいて、例えば、展示で家族構成の資料がありますが、宮沢家の親族を知っている方がいて、そのエピソードをお話ししたりして、そのような話題は見学している方の興味をひくものではないかと思っています。インバウンドの方々がそのような見学をされているのか気になることもあります。

宮澤上席主査：解説の際にそのようなことを加えれば面白味が増すかなと思いますが、私も観光ボランティアガイドの方々の講習などでお話させていただくこともありますので、そのようなことも加えるといいのではということもお話ししていければと思います。また、外国人の方ですが、スマートフォンのアプリが発達して、ただ画面を充てるだけで翻訳が出てくるとい、かなり精度もましているんですがそういうものを利用して、当館にも翻訳用のQRコードの設置はしていますけれど、それと併せてみていただき理解を深めていただいているようです。

瀬川委員：そうなる、滞在時間も短くはないということですか。

宮澤上席主査：割と、長い時間見学されていると思ってんでいます。

中島会長：先ほどご意見のありました、誰を対象にしているかについてですが、この種の施設は大事であり非常に難しい、いわゆる、観光的に来館し満足される方、長時間見学し理解を深めたいという方、どこを対象とするか、どのようにきっかけをつかんでいただくかということは、難しいというよりも入り口の部分で検討することは大切かと思っています。

中島会長：そのほかございませんでしょうか。

それでは、令和6年度の事業計画について、承認することよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

中島会長：ありがとうございます。では、本日の審議はこれで終わりたいと思います。その他なければ、事務局にお返しします。

<5. その他>

小原館長：中島会長様、ありがとうございます。5その他ですが、事務局からはありませんが、皆様からございましたらお願いいたします。

(「なし」との声あり)

< 6. 閉会 >

それでは、以上をもちまして、宮沢賢治記念館運営審議会を閉会いたします。委員の皆様、大変ありがとうございました。